

[Morr Music](#)



オーストリア・ウィーン出身のBernhard Fleischmann(1975年生)によるソロユニット。

## 生い立ち～1stアルバムリリース

幼少より音楽と触れ合う機会は多く、ピアノを1983年から1994年まで、ドラムを1988年から1995年までそれぞれ学んでいる。また1991年からライブパフォーマンスも始め、主にドラムとして様々なバンドに在籍した。

1998年頃より電子音楽の制作を始める。

1999年1月17日、初めての電子音楽ライブをChristof Kurzmannとともに決行、同年4月、地元オーストリアのレーベルCharhizmaより1stアルバム"Pop Loops For Breakfast"をリリース。これはCD版だったが、Vinyl版は[Morr Music](#)より6月に発売された。ちなみに両レーベルとも"Pop Loops For Breakfast"が型番001の初作品。以降もこの二つのレーベルを中心にリリースを重ねることになる。11月、Lali Punaとともにドイツツアーを行う。

## 2ndアルバムリリース～日本ツアー

2000年、[Darla Records](#)のサブレーベルであるFuzzy Boxより2ndアルバム"A Choir Of Empty Beds"を発売。16分37秒の9トラック目"Good Bye"は隠しトラックが含まれており、実際は11分29秒に9曲目が終わり、13分30秒に10曲目（隠しトラック）が始まる。

同年11月、ニューヨークでライブを行う。

2003年、"Welcome Tourist"をリリース。Vinyl版をMorrから、CD版をMorr、Charizma両レーベルから発売した。

同年公開されたBady Minckの映画"the Beginning was the Eye"の音楽を担当、[参考ページ](#)

2004年、ドイツ、イタリア、スイスを回ったツアーの様相を収録したシングル"Tour 7" 2004"がリリースされた。

翌2005年11月には、Morr Musicの日本ツアーとしてTarwaterとともに来日。記念して"Japan Tour 2005 Morr Music: B. Fleischmann / Tarwater"がリリースされた。

## Welcome Touristの受賞～現在

2005年、Quartz electronic music awardsのベストアルバム賞を"Welcome Tourist"が受賞。

同年9月、次アルバムの制作を終え、翌06年2月に"The Humbucking Coil"と名付けられリリースされた。このアルバムでボーカルとしてフィーチャーされたChristof Kurzmannは、B. Fleischmann他三名と"The Year Of"というユニットを結成し、06年の春にMorr Musicから作品もリリースした。

2007年、Morrのサブレーベルから"Melancholie/Sendestra ß e"をリリース。二曲だが二枚組アルバムである理由は、一曲が約50分あるから。それぞれライブの録音であり、

Melancholieは2006年4月27日にベルリンで、Sendestra ß eは2003年06月29日にオーストリアのビザムベルクで録音されたものである。

2008年11月、多くの曲にボーカルや生楽器を取り入れたアルバム"Angst Is Not A Weltanschauung!"がMorrよりリリースされた。

Sample(Play the Big A)

---